

やさいマンスリーレポート（令和3年1月）

発行日：令和3年1月8日

1 野菜の生育状況及び価格見通し〔令和3年1月〕（農水省調査）

<ポイント>～1月は、はくさい、キャベツ、レタス、ピーマンが安値の見込み～

- ・ はくさいは、生育良好により出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回る。
- ・ キャベツ及びレタスは、気温の低下とともに生育が緩慢となるため出荷数量は平年並みで推移し、価格は、前半は平年を下回るが、後半は平年並みに戻る見込み。
- ・ ピーマンは、生育が良好なために前半の出荷数量は平年をやや上回り、価格は平年を下回るが、後半は気温の低下とともに生育が緩慢になるため出荷数量は平年並みに戻り、価格も平年並みに戻る見込み。
- ・ その他は出荷数量・価格ともに平年並みで推移。
- ・ 掲載先：https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/index.html

2 野菜の卸売価格動向〔1月5日 東京都中央卸売市場〕（ALIC調査）

<ポイント>

- ・ 平年比で価格が上がったものは、ねぎ（同140%）、にんじん（同127%）、ばれいしょ（同123%）、ほうれんそう（同122%）、ブロッコリー（同117%）、さといも（同116%）、だいこん（106%）の7品目、平年比で価格が下がったものは、はくさい（同52%）、レタス（同67%）、ピーマン（同77%）、トマト（同84%）、きゅうり（同84%）、たまねぎ（同88%）、なす（同91%）及びキャベツ（同92%）の8品目となりました。
- ・ 掲載先（ベジ探）：https://vegetan.alic.go.jp/vegetable_price.html

3 野菜の小売価格動向

（1）主要野菜14品目（令和2年12月分）（9都市100店舗）（ALIC調査）

<ポイント>

- ・ 調査対象14品目のうち、前月比で価格が下がったものは、キャベツ(前月比75%)、白ねぎ(同88%)、青ねぎ(同90%)、はくさい(同72%)、ほうれんそう(同74%)、レタス(同87%)、きゅうり(同83%)、トマト(同70%)、なす(同92%)、ピーマン(同82%)、だいこん(同68%)、にんじん(同90%)、ばれいしょ(同100%)、の13品目、価格が上がったのは、たまねぎ(同106%)の1品目となりました。
- ・ 平年比で価格が下がったものは、キャベツ(平年比64%)、白ねぎ(同87%)、青ねぎ(同84%)、はくさい(同63%)、ほうれんそう(同65%)、レタス(同50%)、たまねぎ(同98%)、きゅうり(同71%)、トマト(同80%)、なす(同84%)、ピーマン(同93%)、だいこん(同73%)、にんじん(同93%)、の13品目、価格が上がったものは、ばれいしょ(同105%)の1品目となりました。

- ・ 掲載先（ベジ探）：

<https://vegetan.alic.go.jp/retail-price-trends/price-trend-survey.html>

（2）主要野菜8品目〔令和2年12月21日の週〕（農水省調査）

<ポイント>

- ・ 調査対象8品目（キャベツ、ねぎ、レタス、たまねぎ、トマト、にんじん、はくさい及びだいこん）の価格は、前週比で-1%~+16%、平年比で-37%~-4%の範囲内となっています。
- ・ 品目別には、キャベツ121円（平年比71%）、ねぎ644円（同94%）、レタス366円（同63%）、たまねぎ230円（同96%）、トマト660円（同82%）、にんじん338円（同93%）、はくさい108円（同63%）及びだいこん118円（同77%）となっています。
- ・ 掲載先：https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/kouri/k_yasai/h22index.html

4 野菜消費動向（令和2年11月）（総務省統計局家計調査）

<ポイント>

- ・ 11月の生鮮野菜の一人当たり購入数量は5235g（前月比103%、前年同期比112%）
- ・ 上位5品目は、はくさい532g（前月比132%、前年同期比125%）、たまねぎ519g（100%、120%）、だいこん496g（105%、119%）、キャベツ494g（98%、98%）、ばれいしょ276g（97%、107%）
- ・ 掲載先（ベジ探）：<https://vegetan.alic.go.jp/vegetan/sch5.do?outPutKbn=1>

5 野菜輸入動向（令和2年11月）（貿易統計）

<ポイント>

- ・ 11月の野菜輸入量：20万9398トン（前年同期比94%）、うち①生鮮野菜5万2043トン（93%）、②冷凍野菜8万9721トン（93%）、③塩蔵等野菜6726トン（95%）、④乾燥野菜3858トン（99%）
- ・ 輸入野菜上位品目は、①生鮮野菜：たまねぎ1万7193トン（83%）、にんじん6503トン（99%）、ねぎ4744トン（90%）、ごぼう4356トン（113%）、ジャンボピーマン4270トン（130%）、②冷凍野菜：ばれいしょ3万702トン（90%）、その他の冷凍野菜2万9423トン（94%）、えだまめ4690トン（82%）、③塩蔵等野菜：きゅうり及びガーキン1749トン（121%）、しょうが906トン（69%）、れんこん326トン（92%）
- ・ 輸入先国上位国は、①中国11万8623トン（93%）うち生鮮たまねぎ1万6962トン（84%）、生鮮にんじん6353トン（100%）、生鮮ねぎ4744トン（90%）、②米国3万4757トン（94%）うち冷凍ばれいしょ2万3459トン（93%）、冷凍スイートコーン2361トン（86%）トマト加工品3003トン（97%）、③韓国5945トン（130%）うちジャンボピーマン3834トン（135%）、その他調整野菜1666トン（135%）、生鮮トマト353トン（87%）
- ・ 掲載先（ベジ探）：<https://vegetan.alic.go.jp/import-export-trends/latest.html>

6 野菜主産地の向こう1か月の気象情報（富良野、佐久、洲本等14地点）（ALIC調査）

<1/2～1/29の気象傾向>

- ・ 関東甲信地方 期間の前半に強い寒気の影響を受けるため、気温は平年並か低いでしょう。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込みです。
- ・ 東海地方 期間の前半に強い寒気の影響を受けるため、気温は平年並か低いでしょう。期間の前半はかなり低くなる見込みです。降水量と日照時間はほぼ平年並でしょう。
- ・ 九州北部地方 寒気の影響を受けるため、気温は低く、期間の前半はかなり低くなる見込みです。降水量と日照時間は、ほぼ平年並でしょう。
- ・ 近畿太平洋側 期間の前半に強い寒気の影響を受けるため、気温は低いでしょう。期間の前半はかなり低くなる見込みです。降水量と日照時間はほぼ平年並でしょう。
- ・ 四国地方 期間の前半に強い寒気の影響を受けるため、気温は低いでしょう。期間の前半はかなり低くなる可能性があります。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込みです。
- ・ 掲載先（ベジ探）：<https://vegetan.alic.go.jp/wp-content/uploads/kaisetsu.pdf>

7 やさいレポート（令和3年1月号）（ALIC調査）

- ・ 緊急需給調整事業の対象の主要野菜6品目（キャベツ、たまねぎ、だいこん、にんじん、はくさい及びレタス）の卸売価格、小売価格、生育出荷、気象、消費、輸入の最新情報をまとめて紹介しています（毎月発行）
- ・ 別添ファイル「やさいレポート」（令和3年1月号）
- ・ 掲載先（ベジ探）：https://vegetan.alic.go.jp/yasai_report.html

8 おすすめやさいレシピ

- ・ 月刊野菜情報で毎月旬の野菜を使った1人分の「おすすめ簡単レシピ」を紹介しています。1月号は「さといも」「れんこん」です。2月号(1月25日発行)は「ほうれんそう」「みずな」です。
- ・ 機構ホームページで、トマト、レタスなど40品目の「おすすめやさいレシピ集」を紹介しています。1月は、はくさい、キャベツ、レタス、ピーマンがお買い得の見込みです。
- ・ 掲載先（機構HP）：https://www.alic.go.jp/y-kanri/yagyomu03_000001_00046.html

9 2021年は「国際果実野菜年」です～野菜プラス1皿で健康な生活を維持しましょう～

- ・ 2021年は「国際果実野菜年」です。
- ・ WHOとFAOは、健康な生活の維持のため、野菜と果実をあわせて1人1日400グラム以上摂取することを奨励しています。日本の厚生労働省は、「健康日本21」の中で、1人1日350グラム以上の野菜を食べることを推奨していますが、小皿で1皿分に相当する70グラム不足しています。
- ・ 新型コロナ禍で野菜プラス1皿食べて、免疫力の維持、向上を図りましょう。
- ・ 掲載先（機構HP）：https://www.alic.go.jp/y-kanri/yagyomu03_000001_00148.html

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理課、野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793